

# 夏号みどり通信

発行 21 世紀記念公園 麓山の杜管理事務所  
連絡先 〒963-8876 郡山市麓山 1-16-17  
TEL 924-2194 FAX 924-2195

## 【みどりの教室】

日時：2021 年 8 月 29 日(日)10:00～12:00

場所：カルチャーセンター 工作室

定員：10 名※抽選になります。

内容：季節の寄せ植え

参加費：500 円※当日お支払いください。

申込期間：令和 3 年 8 月 12 日(木) 9:00～

令和 3 年 8 月 17 日(火)

17:00 まで

申込方法：21 世紀記念公園へ

お電話で申し込みください。



## 【記念樹交付日】

場所：郡山カルチャーパーク カルチャーセンター  
(交付場所が変更になる場合がございます。  
変更の際は改めてご連絡いたします。)

対象：記念樹申請者

日時：令和 3 年 9 月 26 日(日)10:00～15:00

日時：令和 3 年 10 月 24 日(日)10:00～15:00

日時：令和 3 年 11 月 28 日(日)10:00～15:00

\*市内に住宅を新築または購入された方へ苗木を  
1 本プレゼントしています。

申請期間は新築または購入日から 1 年以内です。

\*当日検温とマスクの着用をお願いいたします。

## My ガーデニング

・・・季節のワンポイントアドバイス



### 【水やり】

ことしの夏はどのような暑さになるのですかね？梅雨明け後の気温と降水量がとても気になります。植物を育てていくうえで特に大事なのが水やりです。枯らしてしまう原因の多くは水の管理とされます。それは植え付けである土壌によって大きく変わってきます。またその植物によって水分をとる必要とするものから乾燥に耐えるものや好むものまで千差万別です。植物にとっては夏越しがその後の成長に大きく関係してきます。花が咲かないなどの場合はこの時期の水管理によって花芽ができにくくなったりすることが往々にあります。今年ヤマボウシは花がいっぱいいたような気がしませんか？植栽されている場合でも葉が見えないくらいに純白の花におおわれていたと思います。昨年花芽ができるころの水分の状態がよかったからと推測されます。植えて間もない場合は（特に今年春以降に植え替えられたもの）雨が少なく乾燥するときには水やりは必要です。あげる時間帯は朝が向いています。そして特に乾燥が激しいときには

夕方にもあげることが必要になります。あげる水の量は根まで届かなければ効果はありません。樹冠全体にシャワーのようにかけてください。鉢植えなら鉢底から水が流れ出ていく位にあげます。萎れてからでは遅すぎます。ドウダンツツジのように根が浅く乾燥に弱いものはすぐ葉が萎れ茶色になって紅葉を楽しむことは出来なくなります。落葉樹は水不足などで弱ってしまうと上部先端より枯れ下がってきます。根が遠く深く伸びているような健全な状態にしておくことが大事ですね。その為には植えこむときの土壌を赤玉土 6～7 割、腐葉土 3～4 割のような保水性と通気性をもった状態にします。そして表面を腐葉土などでマルチングをして乾燥を防ぎます。郡山市で多くみられる粘質土や真砂土は不向きです。

### 【植替え】

これからの時期はどの植物も植替え替えには適しません。常緑樹は秋の彼岸ごろまで待ちます。落葉樹は 10 月末から行えます。鉢植えの場合でも庭に植えこむのは避けたほうが無難です。

**【肥料】**

肥料はこれからの時期にあげるとかえって根を痛めてしまうことが心配されます。それで多くの樹木には控えます。但しアジサイなどの開花後にはお礼肥として低成分の化成肥料をあげます。収穫後の果樹類もお礼肥をあげるようにします。草花も暑い時期は少なくしたほうが無難ですね。

**【病害虫】**

病気は予防、害虫は早期の退治が基本です。バラ、カエデ類、ハナミズキなどにできる“うどんこ病”も毎年長い期間発生し防除が厄介な病気です。葉が白く粉をふいたようになっています。



アメリカシロヒトリも 6 月中旬から幼虫が発生しはじめました。広がらないうちに退治することで大きな被害を防ぐことができます。そして 8 月頃の二回目の発生も少なくできます。サルスベリも花が咲きだしますが、アブラムシやカイガラムシの被害も顕著になります。その後にはすす病が発生しひどい状態になってしまいます。カエデ類をはじめ多くの樹木に被害をだし時には枯らしてしまうこともあるカミキリムシも成虫が飛び回っています。これは捕殺しかありません。幹の中にもぐって被害を出す穿孔性害虫は全てカミキリムシのように思っていますが蛾の幼虫の場合もあります。どちらも防除が難しいです。



葉の裏にはイラガも発生し始めます。針葉樹につくマツカレハもこれから蛾になり次の世代の卵を産み付けます。イモムシ（ケムシ）は抜け殻でもかぶれることがありますので注意が必要です。剪定作業を行うときは長袖長ズボンで肌を露出しないようにしたほうが無難です。卵塊を見つけたら取り除いておくことが次の発生を少なくするコツです。

**【剪定】**

常緑広葉樹や針葉樹はこの時期でも切りすぎなければ大丈夫です。落葉樹は伸びすぎた枝を切り詰める程度にします。ただ暑い時期には、葉が極端に少なくなるときの剪定をしないことです。もし少しでもさっぱりさせたいと思うなら先端を切り詰めるだけでなく幹に近い内側の部分の枝を整理するとすっきりした樹形にすることができます。風通しを良くすると病害虫防除にも効果があります。こからの台風シーズンにも倒木や枝折れを防げます。この時期以降の光合成によって樹木は体内にエネルギーを蓄え育っていきます。

**【身近な樹木の紹介】****ブルーベリー**

早生種は 6 月下旬から収穫ができます。生食も美味しいですがジュースやジャムなどに加工することも可能です。青紫に色づいた頃が収穫時期ですが、野鳥に先を越されてしまうこともあります。郡山市の場合はハイブッシュ系が向いていると思います。同じ系統の 2 品種以上を植えこむことによって受粉が行われ実がなります。早生から晩生まで数多くの品種があります。秋には紅葉も楽しめます。無消毒でも育ちます。